

平成30年度第4回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「ハスの秘密を知ろう」を実施しました。

日 時：平成30年8月4日（土）午前9時30分から午後3時まで

場 所：霞ヶ浦環境科学センターおよび沖宿蓮田，霞ヶ浦総合公園蓮園

参加者：18名

結 果： 連日猛暑が続いており，この日も猛暑が予想されたので，野外活動時間を短縮し開催しました。ハスに関する次の10問の質問を用意し，ハスを観察したり，触ったり，解体することで，各人が問の答えを考えて，後に講義で説明していくことで進めていきました。

1. 八重咲のハスの花卉(はなびら)の数は？ 何枚あるの？
2. ハスの大きい葉はどんな形で土から出てくるの？
3. 花のそばに必ず葉がある なぜ？
4. 茎は触るとどんな感じ？ ツルツル？ザラザラ？
5. 蓮根はハスのどの部分を食べている？ 実 花 葉 茎 根
6. ハスから出る糸はなに？
7. 葉に水玉ができる？ なぜ？
8. 蓮根の穴はなぜあいている？
9. ハスの花は何日開いているの？ 1日 2日 3日 4日 5日？もっと？
10. ハスの花は何時に起きるの(何時から開き始めるの)？ 早起き？朝寝坊？

最初に蓮田で，八重のハスの花卉は何枚あるか，大きな葉が土から出てくる時，どんな形をしているか，花のそばには葉があることを観察しました。

次に霞ヶ浦総合公園に移動し，花蓮園で様々な花蓮を観察しました。ここではアメリカ大陸のキバナハスや，一つの花のように見えるが実際には花の中にいくつかの花があり花卉の数が数千枚になる近江妙蓮や千弁連，白い花卉に赤が混じっている爪紅(つめべに)や斑蓮，他に有名な大賀蓮や，皇居に昔からあった皇居和蓮を観察しました。

センターに戻り，ハスの葉柄にも蓮根と同じに穴が空いていることを確認し，葉の先を水に沈めて葉柄から息を吹き込むと葉の真ん中から泡がでること，葉柄から水を流すと葉脈から水が出てシャワーになることを実験し，葉の穴はつながっていることを知りました。八重花蓮の花卉の数は実際に花をバラバラにして何枚あるか数え、80枚以上もあることを知り，予想していた数より多いことに驚いていました。さらに，外側と内側の花びらの違いも観察しました。

講義の最後では花の開花日数や開花する時間を聞いて，開花したハスの花は午後にはきれいに閉じることを知り，さらに，講義後に再度蓮田へ行って，午前中見た花がきれいに閉じていることを確認しました。

次に観察会の様子を紹介します。

(腰塚昭温)



蓮田での観察



ハスの葉のシャワー



霞ヶ浦総合公園の花蓮園での観察



ハスの花を解体中



ハスの講義